

JAF鹿児島×環境省 ストップ！ロードキル アマミノクロウサギ交通事故件数 過去最多 心がけたい「3つの運転」について伝える動画を公開

JAF（一般社団法人日本自動車連盟）鹿児島支部（支部長：上原健太郎）は、環境省と協力し、2025年に過去最多を更新したアマミノクロウサギの交通事故（以下、ロードキル）防止に向け、動画を制作・公開しました。



■奄美大島での「3つの運転」とは？

特別天然記念物「アマミノクロウサギ」は夜の道路で目立ちにくいので、奄美大島をクルマで走行する際は、早めに発見し衝突を回避する「3つの運転」が重要となります。

①事故多発区間やカーブ区間での「減速運転」

奄美大島では、国道や県道といった生活道路でも多数のロードキルが確認されています。急に飛び出してきた際に事故を避けるには、最初から速度を落としておくことが欠かせません。

②路肩に注意し 早期発見するための「ハイビーム運転」

アマミノクロウサギは身体が黒いため、ロービームでは見えづらくなります。ハイビームを適切に使うことで発見の可能性が高まります。 ※対向車や前走車がいる場合は切り替えを忘れずに！

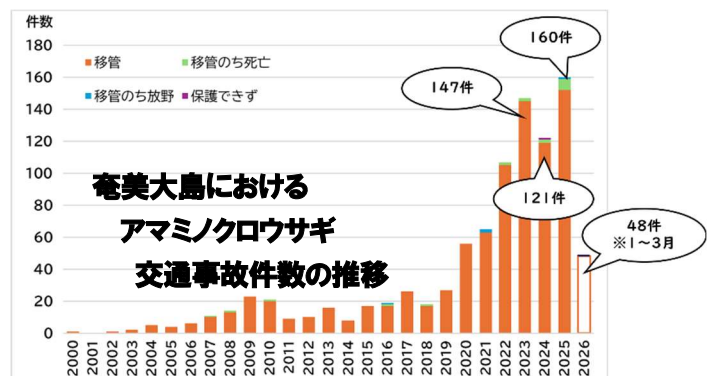
③飛び出してくる、目の前にいる「かもしれない運転」

夜行性のアマミノクロウサギは、道路上で餌を食べたりフンをしたりする習性があります。常に「いるかもしれない」を意識し、ブレーキに足を添えて徐行することが事故防止につながります。

▼ JAF鹿児島支部のホームページで
環境省と協力して制作した
ロードキル防止を呼びかける動画を公開中



JAF鹿児島 ご当地情報



※2025年と2026年の件数は解剖結果により数値が今後変更になる可能性があります

リリースへの問い合わせ

一般社団法人 日本自動車連盟 鹿児島支部 推進課 担当：吉住・江原

〒890-0072 鹿児島県鹿児島市新栄町2-12

TEL：099-284-0007（平日 10:00~17:00）

◎メディア関係者様専用お問合せフォーム ⇒ <https://jaf.or.jp/media>

